

「シーガー使って今日も快釣」 鈴木 新太郎のワンポイントアドバイス

★カワハギ釣りでのライン選びはある程度重要なファクター。まず道糸は伸びを抑えて強度アップにつながり、強度でも安心な「シーガーPEX8」の0.8〜1号。仕掛け部分の幹糸、ハリスは張りとしの強いタイプがカワハギにはおススメ。とくにハリスはピンと張って幹糸に絡みづらく、強度のあるものがおススメとなる。数あるシーガーのフロロカーボンシリーズの中では「シーガーグランドマックス」がベストだが、カワハギ釣りは仕掛けの消耗が激しい釣り。「グランドマックスまでの強度は必要ないので、リーズナブルで同じようなタイプ『シーガーエース』をおすすめします」と言う鈴木さんだった。



▲晴山さんもしっかり自製仕掛けを用意
「グランドマックスまでの強度は必要ないので、リーズナブルで同じようなタイプ『シーガーエース』をおすすめします」と言う鈴木さんだった。

シーガー PEX8

★カワハギにおススメはシーガーPEX8、0.8〜1号。150〜300m巻きの4アイテム、価格はオープン

シーガー エース

★0.3〜20号と幅広いラインナップ、クレハ独自の二重構造はフロロカーボンの弱点でもある結節強度を高め、衝撃、摩擦にも強くなった。◎0.3〜20号、手軽な10m巻きから100m巻き、60m連続まで豊富に用意。今回使用した2.5〜3号は100m巻きのメーカ希望本体価格3000円



▲終盤になってコツをつかんだのか連チャンモードに

▶当日のレギュラーはこのサイズ

▼晴山さんは平均ベースで数を重ねる



★クレハ製品はカワハギ釣りでも欠かせない

★のんびり、和あいいいムードでカワハギ釣りを楽しんだ

Challenge #56 三浦半島剣崎松輪港出船のカワハギ 鈴木 新太郎&晴山 由梨 美味なる食材を求めて のんびりカワハギと遊ぶ

釣れる釣れる釣れる 釣れる釣れる釣れる 釣れる釣れる釣れる

◎11月になってようやく本格化したカワハギ、三浦半島剣崎松輪港もキハダ狙いが終了して乗合出船する船宿が増えてきた。目下の釣りは城ヶ島沖、トップで15枚前後とまずまずの釣果が続いている。今回は肩肘張らず、のんびりカワハギ釣りを楽しもうと、鈴木新太郎さんが晴山由梨さんを誘って釣行した模様をお届けする。



▲「これで刺身が食える」と鈴木さん



▶当日は城ヶ島沖20〜30メートルダチを攻めた

◀移動中は賑やかだが、竿を握ると真剣モード



▲竿頭は元ステファノチャンプの大橋博さん



▶唯一の一荷釣りには女性の手に



▲晴山さんにくるのは良型が多かった

黙々と釣る晴山さんも、「カワハギなら負けないわよ」と言わんばかりに18センチの1枚目。ここからデッドヒートかと思われたが、食いは今一つで移動ごとにポツポツといったところ。2人は真剣に釣りながらも、移動中はプライベートや他の釣りの話で盛り上がる。

当日は小春日和でベタナギの海上テクニカルなカワハギは得てして肩肘張った釣りになるものだが、当日は晴山さんに主役を譲るかたちでの和気あいあいとしたムードに終始した。

釣果のほうは中盤まで晴山さんがポツポツ釣りながらもリードしていたが、納竿1時間前、「アツ、パターンが分かった」と言いながら鈴木さんが突然連チャンモードに入る。だが、時すでに遅しで14時の納竿を迎えてしまった。釣果は晴山さん9枚、鈴木さん8枚、これは経験値の差というしかないだろう。船中では15枚がトップ、中型主体に大型交じりというここ最近の平均釣果。

「家族で食べるには十分の数。久しぶりのキモ和えが楽しみです」と言う鈴木さんにに対し、晴山さんは、「私はカワハギ丼にします」

2人とも最後は料理談義となり、仲よく船を下りるのだった。



★晴山さん、会心の2.5センチ級

まず竿を曲げたのは鈴木さん。「これ、カワハギかなあ。引きを忘れちゃったよ」と言いながら20センチ弱の船中1枚目を取り込む。なんと1年半ぶりのご対面だそう、まんじりと魚体を見つめていた。

この時期の鈴木新太郎さんはヒラメ、マダイ、青物など主に中大型狙いの釣りに明け暮れている。そんななか、「たまには息抜きを兼ねてカワハギに行ってみようかな。おいしいキモ和えを食べたいからでもあります」と11月中旬に訪れたのは、カワハギ乗合を始めたばかりの三浦半島剣崎松輪港の成銀丸。

同行はシーガーフィールドスターでもあり、カワハギ釣りが大好きな晴山由梨さんだ。年に一度くらいしかカワハギ釣りに行かない鈴木さんにとってはアドバイザー役でもあったのだが、「とんでもない。私から鈴木さんに教えることなんてありません」と笑いながら答える晴山さん。

10名の乗船者で7時に出船。港前の剣崎沖は今一つのこと、一気に城ヶ島沖まで走り、25メートルダチで第1投となった。根掛かりのないポイントとのことで、2人そろって誘い下げ、ゼロテン、時おりタタキといった釣りはセオリーどおりだ。